

## 株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2021 年 10 月 21 日開催分)

開催年月日 : 2021 年 10 月 21 日 (木) 11 : 00 ~ 13 : 00

開催場所 : オンライン開催

委員の出席 : 番組審議員 7 名 欠席 0 名

WOWOW プラス 7 名

出席者

[審議員] 青木真弥、池ノ辺直子、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、  
村上典吏子、湯浅正敏 (以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 大熊和彦、廣田敦、富田純代、青木昭、山下泰司、  
森平伸雄、渋谷明子 (記)

議題 : (1) 2021 年 7 月 ~ 9 月の WOWOW プラス に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について  
(2) WOWOW プラス の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項 : 2021 年 7 月 ~ 9 月における WOWOW プラス に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項 : [審議番組] 『アニメーション作家 川本喜八郎の世界 /  
アニメーション作家 岡本忠成の世界』

<番組概要>

ストップモーション撮影の国宝的作品が、4K 修復版で美しくよみがえる。日本のストップモーションアニメの発展に寄与した 2 人の名匠。川本喜八郎と岡本忠成。2020 年に、川本が没後 10 年、岡本が 30 年を迎えたのを記念し、川本喜八郎・岡本忠成のアニメーション作品が、「WOWOW プラス」の特別企画により【4K 修復版】として美しくよみがえった。番組では、本編前に川本喜八郎、岡本忠成の偉業を紹介するイントロダクションを放送した。

審議内容 : ■審議員意見

- ・イントロダクションの番組は、シンプルながら丁寧で、川本氏と岡本氏のそれぞれに特徴が出ており、10 分では物足りなさを感じた。岡本忠成の番組で触れていた、みんなのうた「メトロポリタン美術館 (ミュージアム)」については、難しかったのかもしれないが本編映像や場面写真で紹介されていたらより良かった。

- ・イントロダクションの番組の作りが丁寧で面白く、単独の番組でもよかったです。このような日本の技術、アーティストの紹介する企画を、インターネットなどを通じて、世界発信できるように繋げることも考えないともったいない。
- ・川本氏と岡本氏、共に名前は知っていたが、作品は初めて見た。内容は良かったが、作品重視でなく、ふたりの人生の起伏がフックとなる、ヒューマンインタレストがもう少しあった方が面白かったのではないかな。
- ・作品からは、文化的価値、作家の執念を感じた。作家それぞれが、何故その題材を選んでアニメーションにしたのかを知りたい。本編後に、余韻の共有が出来るようなコメントや総括があったら、一層興味が深まったのではないかなと思った。
- ・川本氏、岡本氏を知らない場合、イントロダクションの番組がすべて。知らなくても何がすごいのか分かれば作品への興味になる。番組では、作品がすごいことは判ったが、どんな人かが判らなかったなので、お二方の人柄が判るような作りでもよかったです。
- ・川本氏と岡本氏、それぞれの飽くなき映像表現の追及が10分のなかで伝わってきた。カメラマンの田村氏のインタビューのように、一緒に仕事をしていた方のお話は貴重。声の出演者のインタビューもあればよかったです。先鋭的な音楽が効いている作品なので、音楽についての解説が入っても面白かった。
- ・CMの草創期の頃は、5社協定によりTVに映画俳優が出られなかったことで、アニメーションが多用された。作品への理解を深めるために、作家の人物像を紹介するなどがあっても良かった。

-----  
連絡事項： 次回番組審議会は、2022年1月20日（木）11：00開催予定。

以上